

アドビ、Adobe Firefly Image 3 Foundation モデルを発表 クリエイティブ探求とアイデア出しをより高いレベルへ

- Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）は、フォトリアリスティックな画像品質、スタイリング機能、出力のディテールと正確さが大きく向上し、バリエーションも豊富に
- 生成速度の大幅な向上により、アイデア出しと作成プロセスにおける生産性と効率が向上
- Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）は、Adobe Photoshop（ベータ版）と Adobe Firefly web 版で利用可能

※当資料は、2024年4月23日（英国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。



【2024年4月23日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、クリエイティブティカンファレンスである Adobe MAX London 2024 において、クリエイティブ生成 AI モデ

ルファミリーの次期メジャーリリースとなる [Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル \(ベータ版\)](#) を発表しました。Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル (ベータ版) は本日より Adobe Photoshop (ベータ版) と Adobe Firefly web 版で利用可能です。Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル (ベータ版) は、性能とコントロールを大幅に改良したものです。これにより、高品質な画像生成、プロンプトのより深い理解、より高いレベルのディテールとバリエーション、そして迅速なクリエイティブ表現とアイデア出しが可能になります。また、最新バージョンの画像モデルでは、ライティング、ポジショニング、ディテール、テキスト表示などが強化され、これまで以上にフォトリアリスティックな画像品質を実現します。

[Adobe Firefly web 版](#) で本日から利用できる Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル (ベータ版) は、「テキストから画像生成」モジュールの「スタイル参照」や「[構成参照](#)」、「生成塗りつぶし」モジュールの新機能である画像拡大や縦横比の変更が可能な「生成拡大」などで利用できます。

アドビのデジタルメディア担当最高技術責任者 (CTO) であるイーライ グリーンフィールド (Ely Greenfield) は、次のように述べています。「わずか1年あまりで、Adobe Firefly は何百万人ものクリエイターが、アイデアを生み出すために毎日使用する画像生成ツールになりました。しかし、今はまだ始まりに過ぎません。私たちが Adobe Firefly Image 3 Foundation モデルを開発し続ける間に、クリエイティブコミュニティがこのベータ版でどのような挑戦をしていくのか、とても楽しみにしています。」

Adobe Firefly は、2023 年 3 月の最初の公開以来、世界中で 70 億枚以上の画像生成に使用されています。アドビは、Adobe Photoshop、Adobe Express、Adobe Illustrator、Adobe Substance 3D など、アドビのユーザーが毎日使用するワークフローに直接統合できるように、Adobe Firefly を構築しました。そしてわずか1年で、Adobe Firefly は画像編集、テンプレート作成、ベクターデザイン、3D テクスチャリング、ステージングをより良いものに変えました。アドビは、新しい基盤モデルごとに、その技術をベータ版としてクリエイティブコミュニティに公開し、フィードバックを得て、アウトプットを改善しています。

新しい Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル

Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）により、ユーザーは迅速なアイデア出しと実験が可能です。クリエイターは、より簡単にビジョンを実現し、より生産的に作業し、より高品質で細かな画像を生成することができます。

Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）で可能となったことは以下の通りです。

- **自動スタイライズ機能による新次元のクリエイティブな表現**：新しいスタイルエンジンを搭載した Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）の自動スタイライズ機能では、より高品質でバラエティに富んだ出力が可能となり、生成する画像のスタイルをより自由にコントロールできます。画像出力には、さまざまなスタイル、色、背景、被写体のポーズなどが含まれ、クリエイティブなアイデアを生み出すための幅広いオプションが用意されています。
- **「構成参照」と「スタイル参照」によるクリエイティブコントロールの強化**：Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）の「構成参照」と「スタイル参照」機能により、卓越したユーザーコントロールと最先端のビジュアル品質が実現します。構成参照により、参照用画像の構成にマッチした新しい画像をすばやく生成できるため、完璧なプロンプトの作成のための試行錯誤が不要になります。また、スタイル参照では、より高品質な出力が実行されるため、ユーザーは生成されるスタイルをより自由にコントロールし、パーソナライズすることができます。これらの機能を組み合わせることで、ユーザーは画像の構成とスタイルの両方を参照し、素早くアイデアを形にすることができます。
- **高品質な画像**：Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）は、より高性能な照明、ポジショニング、バラエティによって、高品質な画像を提供します。人物のレンダリング（細かな特徴、さまざまなムードや表情）、複雑な構造、集合体も大きく改善しています。
- **豊富なディテールとプロンプトの精度**：Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）は、テキストプロンプトとシーンをより深く理解しているため、長くて複雑なプロンプトを正確に反映し、より多くのディテールを含んだ画像生成が可能です。テキストレンダリングも改善され、明確なテキストディスプレイの画像生成が可能になりました。これにより、ポスターのようなアセットのアイデア出しがより効率的になります。
- **イラストとアイコンの幅広いスタイル**：Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）は、出力におけるイラストを大きく改善し、アイコンやロゴ、ラスター画像、線画をすばやく作成できます。

Adobe Firefly Image 3 Foundation モデル（ベータ版）は、[Firefly.adobe.com](https://firefly.adobe.com) の Adobe Firefly web 版から利用可能です。アドビは、Adobe Firefly を搭載した生成 AI 機能をアドビのアプリケーションで使うのに必要な[生成クレジット](#)の割り当てを含む、無料プランと有料プランを提供しています。

Adobe Firefly は、Adobe Stock などのライセンスコンテンツを使って学習をしており、著作権や商標、ロゴなどの知的財産権（IP）を侵害しない商用利用のコンテンツを生成するよう設計されています。アドビは、多層かつ継続的なレビューとモデレーションを行い、アドビのポリシーに反するコンテンツをブロック・削除し、Adobe Firefly が生成したコンテンツに対する IP 補償をユーザーへ提供します。

責任あるイノベーションへの取り組み

アドビは、説明責任、透明性に関する同社の [AI 倫理原則](#) に従い、AI を開発することを約束します。[アドビの最近の調査](#) では、米国の消費者の 76% が、オンラインコンテンツが AI によって生成されたものかを知ることが重要と考えていることが分かりました。AI 利用の透明性を確保するため、Adobe Firefly で生成された画像すべてに、[コンテンツ認証情報](#) が自動的に付与されます。デジタルコンテンツの成分表示ラベルのように、コンテンツクレデンシャルは改ざん検知可能なメタデータで、作成または編集プロセスで AI が使用されたかどうかなど、デジタルコンテンツに関する詳細な情報を提供できます。

コンテンツクレデンシャルは、C2PA オープンスタンダードに基づいて構築され、アドビが主導する [Content Authenticity Initiative](#)（コンテンツ認証イニシアチブ、CAI）によってサポートされており、デジタルエコシステムの信頼性を高めるために、2019 年に設立されました。現在、CAI はテック、政策、メディア企業、クリエイティブプロフェッショナル、研究者など、2,500 人以上のメンバーを擁するグローバル連合に成長し、デジタルコンテンツに透明性をもたせるために協力しています。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2024 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.